



災害が発生した時の市民の皆さんの対応や日頃ご家庭でできる備えを紹介します！

もし、災害が発生したら・・・

災害に関する情報にご注意ください

- ◆断水状況や応急給水の場所などの必要な情報は、ホームページ、テレビ、ラジオ、新聞、広報車などでお知らせしますので、市民の皆さんは、行政からの情報に注意し、慌てずに行動してください。



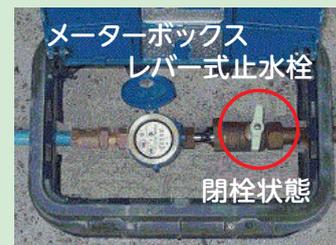
◀もし、災害が発生したら
(水道局ホームページ)

宅地内などの漏水を確認してください

- ◆災害により宅地内で漏水が発生することがあります。
宅地内で漏水が発生したときは、慌てずにメーターボックス内の止水栓を閉めて水道局指定給水工事業者に修繕をご依頼ください。
漏水を放置すると配水池の水が底をつき、断水を招くおそれがあります。
また、道路上で漏水していると思われる場所を見つけた時は、水道局へ通報ください。



▲水道局指定工事業業者一覧表
(水道局ホームページ)



復旧工事や計画断水にご協力ください

- ◆災害の規模によっては、施設が被害を受け断水したり、下水道が使えなくなる可能性があります。
水道局では、早急な給水・汚水処理の再開のため、迅速な応急復旧工事を行います。
また、大規模な断水を回避するため、配水池の水位の回復を図る必要がある場合は、計画断水を行うことがあります。
市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【総務課 TEL: 213-8507】

災害時の応急給水

- ◆災害時等による断水時に、市民の皆さんへ飲料水を届けるため、水道施設や小中学校などを応急給水拠点として、92箇所指定しています。ご自身の住んでいる地域の応急給水拠点は、「水道局ホームページ」及び「かごしまiマップ(防災マップ)」でご確認ください。
- ◆なお、災害の状況に応じて、応急給水拠点以外の場所で行う場合もあります。
応急給水を行う際には、水道局ホームページなどでお知らせいたします。



▲応急給水拠点所在地の確認
(水道局ホームページ)



応急給水訓練の様子

【給排水設備課 TEL: 213-8521】

もしもの時の備えをしましょう

1人1日3リットル、3日分の水を備蓄しましょう

- ◆飲料水は1人1日3リットル、3日分が目安です。(生命維持のための最低水量は1人1日3リットルとされています。)
- ◆清潔で、ふたのできる容器に口元いっぱいまで水道水を入れ、ふたをしっかり閉めます。
- ◆直射日光を避けて涼しい場所に保管し、3日に1回程度は容器を洗い、新鮮な水に入れ替えてください。
- ◆入れ替えた後の水は、捨てずに洗濯やトイレなどに利用してください。
- ◆5年保存など長期保存ができる備蓄用のペットボトルなども市販されています。



◀災害への備え
(水道局ホームページ)

ローリングストックでぐるぐる汲み置き

水道水をペットボトルに入れ、飲み水や料理などに使いながら冷蔵庫で保存します。
1本が空になったら水道水を補充して使用するのを繰り返します。
ペットボトル2リットル×3本で汲み置きすると、常に4リットル(2本分)以上の備蓄ができます。



給水を受けるための容器も準備しましょう

- ◆断水時、応急給水を受けるときに必要です。
清潔なポリ容器やバケツなどをいくつか準備しておきましょう。



※水1リットルで、1キログラムの重さがありますので、運ぶのは年配の方や障害のある方には大変な作業です。
地域の皆さんのご協力をお願いします。

お風呂の残り湯を貯めておきましょう

- ◆浴槽に水を残しておくこと、断水時にトイレや消火用水などに利用できます。



携帯トイレ・簡易トイレがあると便利です

- ◆災害時は、断水や下水道の詰まりから、水洗トイレが使用できなくなることがありますので、携帯トイレや簡易トイレを準備しましょう。

水を節約できる防災グッズがあると便利です

- ◆ウェットティッシュや水のいらないシャンプー、紙皿・紙コップなどを利用することで、水を節約することができます。

【総務課 TEL: 213-8507】

水道局の主なイベント (令和6年度予定)



7月
水の再生工場探検
(南部処理場)



7月
夏休み親子水教室
(平川浄水場)



8月
夏休み体験イベント
～水のトラブル発生!! ミッションを突破せよ～
(平川浄水場)



8月
下水道展かごしま
～下水道を学ぼう～
(市立科学館)



9月
下水道の日